

# 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月31日

上場会社名 あずみ株式会社

上場取引所 名

コード番号 9935 URL <http://www.as-me.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 渡邊 正直

TEL 052-232-0246

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,231	△7.0	△125	—	△106	—	△101	—
21年3月期第1四半期	3,472	6.8	△54	—	△22	—	△48	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△8.99	—
21年3月期第1四半期	△4.31	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	13,988	8,694	62.2	772.75
21年3月期	13,853	8,877	64.1	788.97

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 8,694百万円 21年3月期 8,877百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	8.00	—	—	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は平成21年10月1日に当社を消滅会社、エステール株式会社を存続会社とし合併を予定しておりますので、22年3月期期末配当金はありません。

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	7,100	△5.0	56	△49.2	94	△42.5	10	△69.2	0.89
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

上記記載のとおり、当社は平成21年10月1日に当社を消滅会社、エステール株式会社を存続会社とし合併を予定しておりますので、通期の業績予想はありません。

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 11,272,000株 21年3月期 11,272,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 20,783株 21年3月期 20,583株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第1四半期 11,251,267株 21年3月期第1四半期 11,251,817株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、景気の底入れ感があるといわれているものの、依然として企業業績や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷等、厳しい状況で推移しております。

当社が属する専門店業界におきましても、先行き不安感から消費の節約志向が高まっており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、新店舗として1店舗を出店したため、6月末現在の店舗数は195店舗となりました。

営業面につきましては、親会社エステール株式会社との製販一体となった取り組みの一貫として、昨年販売を開始した共同企画商品「壺百年珠(ももとせだま)」の販売を強化するとともに、ヤングをターゲットとしたピンクゴールド・プラチナシルバー商品群など魅力ある品揃えの充実に努めてまいりました。また、全店舗においてダイヤモンドフェアを開催し、特にブラックダイヤモンドの販売に注力してまいりました。

管理面につきましては、人材育成教育に取り組むとともに、業務効率を一段とアップする為に、情報システムの全面的再構築に取り組んでおります。

以上の結果、営業成績につきましては、売上高は3,231百万円(前年同期は3,472百万円、前年同期比7.0%減)、営業損失は125百万円(前年同期は54百万円の損失)、経常損失は106百万円(前年同期は22百万円の損失)、四半期純損失は101百万円(前年同期は48百万円の損失)となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産・負債及び純資産の状況

## (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、147百万円増加して9,289百万円となりました。これは主として、売掛金が163百万円減少したことと夏企画商品を先行投入したことにより商品が264百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて、12百万円減少して4,698百万円となりました。これは主として、敷金保証金の減少によるものであります。

## (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて、300百万円増加して4,014百万円となりました。これは主として、未払費用の増加によりその他流動負債が339百万円、支払手形及び買掛金が115百万円増加したことと、賞与引当金が150百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて、317百万円増加して5,294百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、182百万円減少して8,694百万円となりました。これは主として、繰越利益剰余金の減少によるものです。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の64.1%から62.2%になりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ30百万円減少し、2,762百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期において営業活動の結果得られた資金は145百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加と売上債権の減少及び仕入債務の増加によるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における投資活動により使用した資金は70百万円となりました。

これは主に、無形固定資産取得による支出によるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における投資活動により使用した資金は106百万円となりました。

これは期末配当金の支払によるものです。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月8日に公表いたしました業績予想のうち、第2四半期累計期間に変更はありませんが、平成21年10月1日にエステール株式会社との合併を予定しておりますので、通期の業績予想はありません。

## 4. その他

### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

##### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

##### 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前事業年度末に使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法により算定しております。

#### ② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

##### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期累計期間を含む当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。この見積実効税率の算定にあたり加味する差異等は重要なものに限定する方法によりしております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,062,876	3,093,772
受取手形及び売掛金	1,076,671	1,239,829
商品及び製品	4,498,228	4,234,000
原材料及び貯蔵品	32,255	30,832
その他	619,755	543,722
貸倒引当金	△117	△117
流動資産合計	9,289,669	9,142,040
固定資産		
有形固定資産	638,641	653,988
無形固定資産	179,246	163,144
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,079,877	3,112,406
その他	806,009	787,300
貸倒引当金	△4,990	△5,300
投資その他の資産合計	3,880,895	3,894,405
固定資産合計	4,698,783	4,711,538
資産合計	13,988,453	13,853,579
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	757,197	642,172
短期借入金	100,000	100,000
未払金	2,329,177	2,304,934
未払法人税等	28,249	58,068
賞与引当金	150,834	300,883
商品保証引当金	5,800	5,900
返品調整引当金	4,863	3,044
その他	638,815	299,348
流動負債合計	4,014,937	3,714,350
固定負債		
退職給付引当金	1,139,164	1,134,663
役員退職慰労引当金	69,412	78,327
その他	70,574	49,148
固定負債合計	1,279,151	1,262,138
負債合計	5,294,089	4,976,489

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,062,900	2,062,900
資本剰余金	1,968,745	1,968,745
利益剰余金	4,689,378	4,891,780
自己株式	△10,810	△10,726
株主資本合計	8,710,213	8,912,699
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,849	△35,610
評価・換算差額等合計	△15,849	△35,610
純資産合計	8,694,364	8,877,089
負債純資産合計	13,988,453	13,853,579

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,472,493	3,231,000
売上原価	1,469,024	1,422,728
売上総利益	2,003,468	1,808,271
販売費及び一般管理費		
販売手数料	72,951	74,420
広告宣伝費	156,357	70,778
給料手当及び賞与	741,680	769,880
賞与引当金繰入額	172,500	150,834
役員退職慰労引当金繰入額	4,952	4,783
賃借料	462,073	446,292
減価償却費	51,414	48,311
その他	396,083	368,872
販売費及び一般管理費合計	2,058,013	1,934,173
営業損失(△)	△54,545	△125,901
営業外収益		
受取利息	4,790	1,760
受取配当金	3,445	2,555
受取手数料	15,455	11,392
雑収入	9,075	4,214
営業外収益合計	32,767	19,923
営業外費用		
支払利息	319	729
雑損失	0	125
営業外費用合計	319	855
経常損失(△)	△22,096	△106,833
特別利益		
貸倒引当金戻入額	380	10
特別利益合計	380	10
特別損失		
固定資産除却損	—	1,326
役員退職慰労金	12,737	—
投資有価証券評価損	11,219	—
合併関連費用	—	28,493
特別損失合計	23,956	29,820
税引前四半期純損失(△)	△45,672	△136,644
法人税等合計	2,789	△35,504
四半期純損失(△)	△48,462	△101,139

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△45,672	△136,644
減価償却費	51,414	48,311
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,744	4,501
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△66,488	△8,914
賞与引当金の増減額(△は減少)	△180,411	△150,049
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,250	—
合併関連費用	—	3,249
固定資産除売却損益(△は益)	—	1,326
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△380	△310
受取利息及び受取配当金	△8,236	△4,316
支払利息	319	729
投資有価証券評価損益(△は益)	11,219	—
売上債権の増減額(△は増加)	237,117	163,158
たな卸資産の増減額(△は増加)	△412,681	△265,650
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	△12,835	47,711
仕入債務の増減額(△は減少)	8,108	115,025
未払金の増減額(△は減少)	△427,036	68,786
その他	306,568	296,857
小計	△528,501	183,773
利息及び配当金の受取額	8,195	3,143
利息の支払額	△320	△735
法人税等の支払額	△284,194	△40,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	△804,821	145,636
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△209,000	—
有形固定資産の取得による支出	△7,295	△8,021
無形固定資産の取得による支出	△21,133	△62,374
その他	△482	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,911	△70,444
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	—	△4,582
自己株式の取得による支出	—	△84
配当金の支払額	△101,402	△101,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,402	△106,086
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,144,135	△30,895
現金及び現金同等物の期首残高	2,658,827	2,793,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,514,692	2,762,876

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。